

タイトル「**2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	危機管理学研究演習 I		
担当教員	中林 啓修		
対象学年	1年,2年	開講学期	前期
曜日・時限	時間外		
講義室		単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	—		
科目中分類	修士		
科目小分類	統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP2(学識・専門技能)：40% 災害,テロ,国際紛争等,複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための,法学,政治学,国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能 DP3(思考力・判断力・表現力)：30% 客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力 DP4（主体性・多様性・協働性）：30% 多様な価値観や立場を尊重しつつ,自らの明確な考えをもとに,他者とコミュニケーションを確立する能力		
教員の実務経験	担当教員は、独立系シンクタンクや、沖縄県庁などに勤務する中で、さまざまな研究調査の企画や資金獲得のための計画書作成などを行ってきた。本講義では、それらの経験を活かし、受講生が個人で研究調査を立案し、具体的な研究計画を作成できるよう指導していく（2-15回）		
成績ターゲット区分	—		
科目概要・キーワード	危機管理学とその基礎となる法学に関する研究活動を実践するために、必要な社会科学的研究手法を学び、受講生が自らテーマを設定し、論文を執筆し、成果を発表するための指導を行う。本演習では、危機管理学、法学に関する研究手法の修得、テーマの探求、先行研究の評価、資料の収集とテキスト分析を含む基礎的研究プロセスを扱う。これらの研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とする。 授業形態は演習形式により行う。なお、対応するコンピテンシに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合がある。 ■キーワード：危機管理、武力攻撃事態、緊急処理事態、広域避難、ポスト避難		
授業の趣旨	■副題 危機対応の高度化にむけた研究手法の確立 ■授業の目的 研究手法の修得、テーマの探求、先行研究の評価、資料の収集とテキスト分析を含む基礎的研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とする。 ■授業のポイント 2年間しかない修士課程の中で、着実に研究上の目標を達成できるように、2週間に1回程度を受講生自身による研究発表とグループ討議、教員からのフィードバックを通じて、着実に研究を推進していく。1回あたりの進捗の多寡にこだわりすぎず、継続的な調査研究を行う基準点として授業を位置付けていく。		
総合到達目標	修士論文執筆に向けて、簡単な先行研究レビューとともに研究テーマ（分野、対象、研究仮説）および研究手法を決定し、2年間の研究計画を作成する。		
成績評価方法	■授業参加度（15回）80% DP2；DP3 （評価の観点）学術的な姿勢を評価します。 （フィードバックの方法）演習中、必要に応じてコメントします。 ■実技・パフォーマンス（15回）20% DP2；DP3 （評価の観点）学術研究としての水準、プレゼンテーションの技術、研究資料の完成度を評価します。 （フィードバックの方法）プレゼンテーションに引き続き、講評を行います。		
履修条件	特にありません。		
履修上の注意点	就職活動や進学準備など、2年間という短い修士課程の中で無理なく修士論文を仕上げるのが目標です。その間に、できるだけ学会発表なども経験してもらえればと考えています。そうした趣旨の授業ですので、積極的な授業参加を期待しています。		
授業内容	回	内容	
	1	①授業テーマ ガイダンス・自己紹介 ②授業概要 講義スケジュールの説明や授業構成、成績の考え方など授業のガイダンスを行う。あわせて、受講生の自己紹介を行う。 ③予習（60分）シラバス全体をよく読み、自分が取り組んでみたいテーマや分野について考えておく。 ④復習（60分）講義資料を確認し、自分のテーマについての研究の進め方についてイメージしておく。自己紹介で他の人が話した内容も参考にすること。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。	
	2	①授業テーマ 研究のテーマ探索 ②授業概要 2回ほどに分けて、受講生の研究テーマ（分野や研究仮説を含む）について発表する。 ③予習（120分）自分が、取り組みたいテーマについて考えておく。 ④復習（120分）発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象	

	出なかった受講生は自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
3	①授業テーマ 研究のテーマ探索(2) ②授業概要 2回ほどに分けて、受講生の研究テーマ（分野や研究仮説を含む）について発表する。 ③予習（120分）自自分が、取り組みたいテーマについて考えておく。 ④復習（120分） 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマについての検討を深める。発表対象でなかった受講生は自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返り、先行研究調査を進めておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
4	①授業テーマ 先行研究の調査 ②授業概要 2回ほどに分けて、受講生各自が仮決定した研究テーマについて、関連する先行研究のレビュー結果を発表する。概ね1-2本程度にの主要な先行研究について、自身の研究テーマとの関連を意識しながら発表する。 ③予習（120分）自分が取り組みたいテーマに関連する先行研究について調査する。 ④復習（120分） 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて先行研究レビューを深める。発表対象ではなかった受講生は自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
5	①授業テーマ 先行研究の調査（2） ②授業概要 2回ほどに分けて、受講生各自が仮決定した研究テーマについて、関連する先行研究のレビュー結果を発表する。概ね1-2本程度にの主要な先行研究について、自身の研究テーマとの関連を意識しながら発表する。 ③予習（120分）自分が取り組みたいテーマに関連する先行研究について調査する。 ④復習（120分） 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて先行研究レビューを深める。発表対象ではなかった受講生は自身の次の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
6	①授業テーマ 先行研究調査と研究テーマの修正・決定 ②授業概要 2回ほどに分けて、関連する先行研究のレビュー結果をまとめ発表する。その上で、自身の研究テーマの意義や新規性を再検討し、必要であれば研究テーマの変更や修正を行う。 ③予習（120分）自分が取り組みたいテーマに関連する先行研究について調査する。 ④復習（120分） 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究テーマを最終的に決定していく。発表対象ではなかった受講生は自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
7	①授業テーマ 先行研究調査と研究テーマの修正・決定（2） ②授業概要 2回ほどに分けて、関連する先行研究のレビュー結果をまとめ発表する。その上で、自身の研究テーマの意義や新規性を再検討し、必要であれば研究テーマの変更や修正を行う。 ③予習（120分）自分が取り組みたいテーマに関連する先行研究について調査する。 ④復習（120分） 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて先行研究レビューを深める。発表対象ではなかった受講生は次の自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返り、研究方法の検討を進めておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
8	①授業テーマ 研究方法の検討 ②授業概要 2回ほどに分けて、決定した研究テーマ、特に研究仮説の解明に必要な研究方法を検討し、発表する。 ③予習（120分）決定した研究仮説の解明に必要な方法について検討し、関連する文献資料等を読むなどして、発表を準備する。 ④復習（120分） 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究方法を確立していく。発表対象ではなかった受講生は自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
9	①授業テーマ 研究方法の検討（2） ②授業概要 2回ほどに分けて、決定した研究テーマ、特に研究仮説の解明に必要な研究方法を検討し、発表する。 ③予習（120分）決定した研究仮説の解明に必要な方法について検討し、関連する文献資料等を読むなどして、発表を準備する。 ④復習（120分） 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究方法を確立していく。発表対象ではなかった受講生は自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返り、必要なら研究方法の修正や改善を行う。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
10	①授業テーマ 研究計画の検討 ②授業概要 決定した研究テーマや方法を踏まえた修士論文完成までの研究計画案を作成し、2回ほどに分けて発表する。 ③予習（120分）決定した研究テーマや方法を踏まえて、修士論文完成までの研究計画書案（書式は事前に指定する）を作成し、発表を準備する。 ④復習（120分） 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究計画を修正していく。発表対象ではなかった受講生は自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
11	①授業テーマ 研究計画の検討（2） ②授業概要 決定した研究テーマや方法を踏まえた修士論文完成までの研究計画案を作成し、2回ほどに分けて発表する。 ③予習（120分）決定した研究テーマや方法を踏まえて、修士論文完成までの研究計画書案（書式は事前に指定する）を作成し、発表を準備する。 ④復習（120分） 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究計画を修正していく。発表対象ではなかった受講生は自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返り、研究計画案に必要な修正を行う。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
12	①授業テーマ 研究計画の決定 ②授業概要 10-11回での検討を踏まえ、た修士論文完成までの研究計画を確定させる。その内容について全員で発表する。 ③予習（120分） 10-11回で行った報告を踏まえて研究計画案を修正し、発表の準備をする。 ④復習（120分） フロアからのフィードバックを踏まえて研究計画の最終修正を行う。
13	①授業テーマ 研究の推進 ②授業概要 研究計画に基づいて、研究を推進し、その進捗について2回ほどに分けて発表する。 ③予習（120分） 研究を進め、発表を準備する。 ④復習（120分） 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究内容に反映していく。発表対象ではなかった受講生は自身の発表に向けて、授業中の質疑などを振り返っておく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
14	①授業テーマ 研究の推進(2) ②授業概要 研究計画に基づいて、研究を推進し、その進捗について2回ほどに分けて発表する。 ③予習（120分） 研究を進め、発表を準備する。 ④復習（120分） 発表した受講生はフロアからのフィードバックを踏まえて研究内容に反映していく。発表対象ではなかった

		受講生は、授業中の質疑などを振り返り、研究に反映していく。疑義がある場合は、リアクションペーパーなどを通じて質問する。
	15	① まとめ ② 授業全体を振り返り、秋以降の研究方針について再確認する。
関連科目	R5MR0030危機管理学研究演習Ⅱ、R5MR0031危機管理学研究演習Ⅲ、R5MR0032危機管理学研究演習Ⅳ	
教科書	特に用いない。各自の研究発表の機会などに必要と思われる文献などを指定する。	
参考書・参考URL	特に指定しない。各自の研究発表の機会などに必要と思われる文献などを指定する。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：開講時に告知する ■オフィスアワー：開講時に告知する	
研究比率		

